



2025年(令和7年分) 年末調整の主な改正点と対策

2025年(令和7年分)の年末調整では、基礎控除や給与所得控除の見直し、特定親族特別控除の創設など、税負担の公平化や子育て世帯への配慮を目的とした重要な改正が適用されます。特に「103万円の壁」が実質的に引き上げられるなど、従業員の方の税額計算や申告書記入に大きな影響が出るため、実務担当者はもちろん、従業員の方への丁寧な情報提供と周知が不可欠です。

2025年(令和7年分)年末調整の主な変更点

1. 基礎控除と給与所得控除の引き上げ

主に低所得層・中所得層の税負担を軽減するため、控除額が段階的に引き上げられます。

基礎控除

- 合計所得金額に応じて控除額が細分化・引き上げられます。例えば、合計所得金額が132万円以下の場合、従来の48万円から95万円に増額されます(時限措置含む)。
- 合計所得金額が高くなるにつれて控除額は段階的に減少し、2,350万円超では控除額がゼロになる点は従来通りです。

給与所得控除

- 最低保障額が従来の55万円から65万円に引き上げられます(給与収入190万円以下の方が対象)。
- この改正と基礎控除の引き上げにより、給与収入が160万円以下であれば所得税の課税所得がゼロとなり、実質的に「103万円の壁」が「160万円の壁」に引き上げられます。

2. 特定親族特別控除の創設

年齢19歳以上23歳未満(大学生世代等)の親族について、新たに「特定親族特別控除」が創設されました。

対象者

- 19歳以上23歳未満の親族で、合計所得金額が58万円超123万円以下の者。

控除額

- 親族の所得金額に応じて3万円から63万円が控除されます。この控除は、当該親族を扶養している納税者(従業員)の税負担を軽減するものです。

お年末年始の
お知らせ

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当事務所の年末年始は下記の通り休業させていただきます。

ご賢察のほど、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

【年末年始の休業日】

2025年12月26日(金)お昼12時(正午)から2026年1月4日(日)まで

日頃のご愛顧に心より御礼申し上げますとともに、

来年も変わらぬお引立てのほど、宜しくお願ひ申し上げます。



敬具

セブンセンスグループ

- セブンセンス税理士法人
- セブンセンス社会保険労務士法人
- セブンセンス行政書士事務所
- セブンセンスFAIR株式会社
- 株式会社東京ビジネスセンター
- 株式会社東京税経センター
- 株式会社セブンセンスファーム
- 7TH SENSE GROUP SINGAPORE PTE. LTD.

■東京赤坂オフィス
〒107-0052 東京都港区赤坂2-12-10
HF池田ビルディング7階

■東京銀座オフィス
〒104-0061 東京都中央区銀座8-18-3
銀座加藤ビル2階

■東京上野オフィス
〒110-0005 東京都台東区上野1-19-10
上野広小路会館7階

■北海道釧路オフィス
〒085-0816
北海道釧路市貝塚2-19-14

ネイティブスピーカーのスタッフが、日本の税制やビジネス、そのほかさまざまなトピックスを、30秒間でコンパクトに英語で発信。情報収集や英語のヒアリングなどに、ぜひご活用ください!



た
だ

30
秒! 英語で「Topics」をYouTubeにて配信中!

Seventh Sense Group Channel

YouTubeサイト内[Seventh Sense Group]で検索・登録!

<https://www.youtube.com/channel/UCiZOYTxji7HpALT0Lc101Q/>

Can only be played in Japanese.



円安によるコスト増を一部吸収しながら、競争力を維持できる価格帯を実現していると考えられます。価格設定一つにも、メーカーが円安の荒波の中で販売を維持するための知恵と努力が詰まっているのですね。

A	D	に入る数字を足すといくつになるでしょう?
4		
	3	2
		8 6
7	4	
		4 2
5		3 1
	8	7
5		9 1
	6	3 2

解答は、次月号で掲載します。

解答欄

$$\boxed{\square A} + \boxed{\square B} + \boxed{\square C} + \boxed{\square D} = \text{合計 } \boxed{\quad}$$

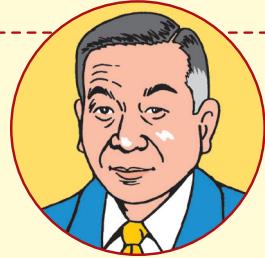
11月号の答え

$$\boxed{2^A} + \boxed{1^B} + \boxed{7^C} + \boxed{1^D} = \text{合計 } \boxed{11}$$

先達に学ぶ。

「基礎の積み重ねで打ち建てた世界一」

内藤多仲(建築家)



名古屋テレビ塔、2代目通天閣、さっぽろテレビ塔、東京タワー。これらはすべて同じ人物が設計した。建築家、内藤多仲である。

1886年、山梨県で生まれた内藤。第一高等学校を経て、東京帝國大学進学。建築構造を学び、耐震構造について研究を深めた。大学院に進むと、学生ながら早稲田大学で講師を務めることに。大学院卒業後は、正式に早稲田大学で教授となった。内藤、当時26歳だ。

1917年、内藤にアメリカ留学の話が舞い込む。留学では、マンハッタンの高層ビルなどを見学した。そしてこの留学が内藤に気づきを与えたといわれる。正確には渡航時に“壊れたトランク”が。

帰国後も耐震構造の研究を進める内藤。そこで、渡航時にトランクが壊れた原因が、中の仕切りを外したことだと気づく。これをヒントに耐震壁による耐震構造理論を考案。理論に基づいて構造設計に携わった日本興業銀行本店と歌舞伎座は、関東大震災でも無事だった。

さて1925年。日本ではラジオ放送がスタート。拠点は同年に建った東京放送局(現・NHK)愛宕山放送局鉄塔で、設計は内藤だ。内藤はさらに数々の塔を設計後、当時世界一高い塔の設計を依頼される。エッフェル塔を超える高さ333mの塔だ。膨大で複雑な計算が必要で、内藤は「積み重ね、積み重ねても、また積み重ね」と基礎の重要性を説いたという。こうして1958年に竣工されたのが東京タワーだ。内藤はこれらにより1962年に文化功労者顕彰を受けた。

東京タワーをはじめ、各地に残る鉄塔は今も多くの人々に愛されている。そのすべてが積み重ねた基礎の賜物であることは間違いない。

今月の一冊

専門家も驚いた遺言・相続の内輪話

- 編著:セブンセンス税理士法人
- 出版社:金融ブックス
- 価格:2,200円(税込)
- 発売中

いつ誰にでも思いもよらぬことが起こり得る?!「自筆証書遺言に捺印がなく無効になった」「家族に内緒で法定相続人を増やし、心理的にこじれた」など、思ひがけない相続の場をストーリー立てで解説。よくある問題や、想定外の珍しい話まで。遺言や相続の流れを押さえながら、基本知識も得ることができる一冊。



kinyubooks.co.jp

今月、この日に何があった?

(1982年12月4日 映画「E.T.」が日本で上映される)

1982年6月にアメリカ、12月に日本でも公開された映画「E.T.」。スティーブン・スピルバーグ監督によるこのSF大作は、世界興行収入で約7億9291万ドル。日本でも135億円という空前の大記録を樹立。これは、1997年『もののけ姫』に抜かれるまで、日本国内の歴代トップの記録であった。70年代後半からの「未知との遭遇」、「スターウォーズ」などSFブームの中の作品だが、少年と宇宙人の交流を描いた冒險と心温まる展開が、若者だけでなく幅広い客層に届きヒットとなった。指と指を合わせる仕草、50才以上の方ならやったことがあるはず。

